

情報解禁 4月16日(金) 9:00 AM 厳守

25周年記念  
るろうに剣心展

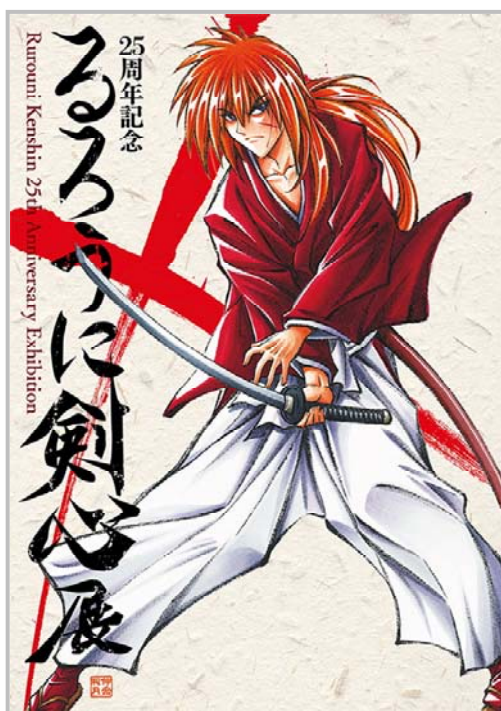
Rurouni Kenshin 25th Anniversary Exhibition

展覧会 2021年6月19日(土)～2021年 8月29日(日)

※会期中展示替えがございますのでご注意ください(前期:6月19日～7月18日、後期:7月20日～8月29日)

前売券(一般のみ) 5月14日(金)発売 \*大学・高校生の前売券はありません

大ヒット漫画『るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-』(著:和月伸宏)誕生から25周年。  
作家ゆかりの地・新潟に原画200点以上が集結。主人公・剣心の生きざまを象徴する愛刀「逆刃刀・真打」も特別展示。



【1】©和月伸宏/集英社

「25周年記念 るろうに剣心展」とは

1990年代に「週刊少年ジャンプ」で連載され、シリーズ累計発行部数7,200万部(電子版含む)を超えた大ヒット漫画『るろうに剣心-明治剣客浪漫譚-』(著:和月伸宏)。幕末から明治へと移り変わる激動の時代のなか、“不殺(ころさず)”の誓いを立て、逆刃刀を手に流浪の旅を続けていた主人公・緋村剣心(ひむら・けんしん)。人斬りだった過去を背負い、迷い悩みながらも闘い続けたその姿は、それまでの少年漫画の主人公と異なる新しいヒーロー像として、当時の読者に鮮烈な印象を与えました。

世の中の価値観が大きく変わるなかで、時代の変化に苦しみつつも、自分の信念を貫き、幸せとは何かを模索し続ける――現代の人々の有り様と何ら変わらない、人生の普遍的なテーマが『るろうに剣心』には描かれています。変化の大きい今の時代だからこそ、改めてこの物語をひもとき、次の時代へと読み継ぐべく「るろうに剣心展」は企画されました。

本展は、剣心をはじめとした魅力的なキャラクターたちがそれぞれの生き方を模索しながら信念を貫く姿を、かつてない規模の直筆原稿やカラー原画で展示するほか、現在連載中の続編『北海道編』や、メディアミックス展開も紹介し、今なお続く『るろうに剣心』の世界に深く迫ります。

さらに、ここでしか見ることのできない展覧会特別描きおろしの原画も展示し、新たな剣心の姿を皆様にご覧いただけます。

新潟会場公式サイト [www.teny.co.jp/ruroken-ten/](http://www.teny.co.jp/ruroken-ten/)

## 展覧会のみどころ

### 其ノ壱「週刊少年ジャンプ」連載時代の原画展示 × 5つのキーワード

200点を超える展示物の中で最大の注目ポイントが、「週刊少年ジャンプ」連載時代の、作者入魂の原画の数々です。本展覧会では、作品を語る上で欠かせない5つのキーワードに分類して展示を構成します。今回はその中から厳選した原画の一部を公開します。

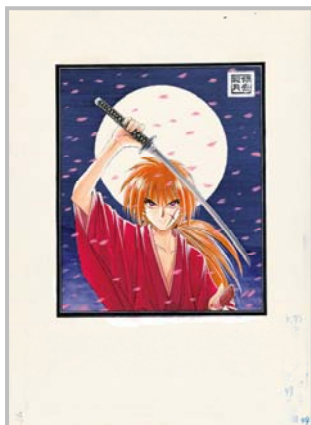


#### キーワード① 仲間とは

作中に登場する「剣心組」、「御庭番衆」そして「十本刀」など、様々な形の“絆”で結ばれた仲間たちを、原画で紹介します。

【2】「仲間とは」展示カラー原画（※前期展示）©和月伸宏／集英社

#### キーワード② 正義とは



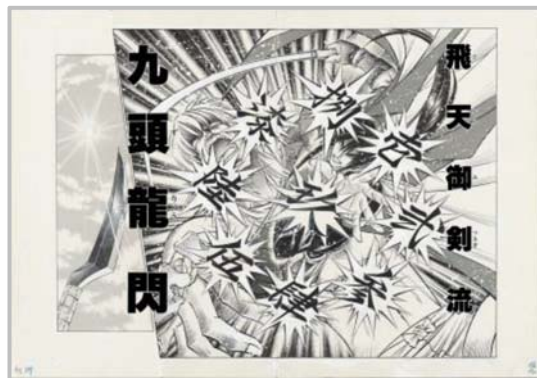
緋村剣心（ひむら・けんしん）、相楽左之助（さがら・さのすけ）、明神弥彦（みょうじん・やひこ）、斎藤一（さいとう・はじめ）、四乃森蒼紫（しのもり・あおし）、志々雄真実（ししお・まこと）、瀬田宗次郎（せた・そうじろう）ら、登場人物の掲げる正義を紹介します。闘いを通じてぶつかりあう、ひとりひとり異なる「正義」の形。それぞれの登場人物が背負うものや信念を、和の空間で演出します。

【3】「正義とは」展示カラー原画（※前期展示）©和月伸宏／集英社

#### キーワード③ 強さとは

「東京編」「京都編」「人誅編」の各ストーリーでの記憶に残る戦闘シーンや必殺技を中心に展示し、激闘の中で見出された答えへと迫ります。四乃森蒼紫の「回天剣舞六連」や、比古清十郎（ひこ・せいじゅうろう）の「九頭龍閃」など、迫力ある必殺技の剣閃が演出されたこのエリアに、作者渾身の原画の数々が集結します。

また、志々雄と駒形由美（こまがた・ゆみ）、そして十本刀が初めて集結した、京都編の前日譚を描いた読切作品『るろうに剣心 裏幕一炎を統べる一』の原画も特別に紹介します。



【4】「強さとは」展示カラー原画©和月伸宏／集英社



#### キーワード④ 命とは

強さや正義の先にある、それぞれが思う「命」の価値。生と死を想起させるモノクロの空間の中で、登場人物たちそれぞれの“想い”を繋げるかのように、赤い“組紐”がその先にある「幸せとは」のエリアへと、続いていきます。

また、この空間では、剣心の“不殺（ころさず）”の信念を象徴する「逆刃刀・真打」の実物再現を展示。より深く作品の世界を堪能できます。

【5】「命とは」展示カラー原画（※前期展示）©和月伸宏／集英社

## キーワード⑤ 幸せとは

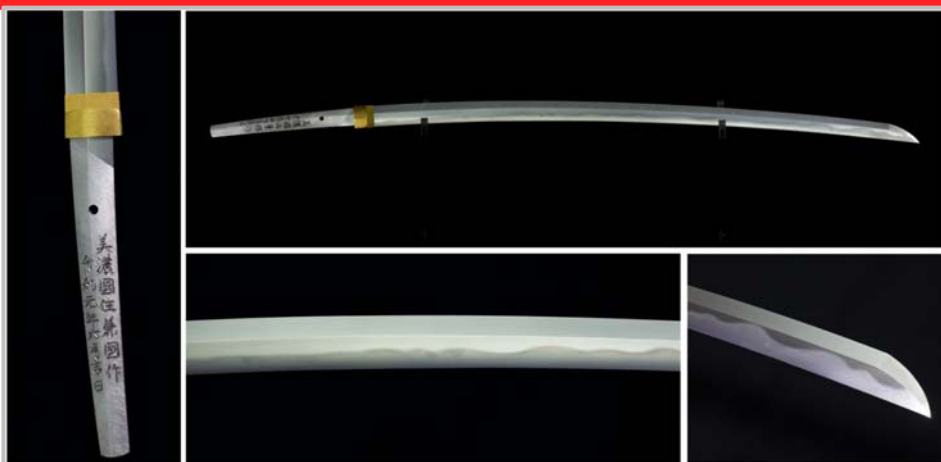
剣心や神谷薫（かみや・かおる）、雪代巴（ゆきしろ・ともえ）、駒形由美（こまがた・ゆみ）など、登場人物それぞれが追い求める幸せのかたち。激動の時代を生き抜いた先で見つけた幸せの答えを、情感あふれるシーンを中心にセレクトして読み解きます。



【6】「幸せとは」展示カラー原画©和月伸宏／集英社

## 其ノ式 作品の世界観を象徴する剣心の愛刀「逆刃刀・真打」特別展示！

剣心が初めてこの刀を手にした場面をはじめとする数々の名シーンの原画とともに、主人公・剣心の“不殺（ころさず）”の信念を象徴する「逆刃刀・真打」を展示。この「逆刃刀・真打」は、愛知県・犬山市の博物館明治村の依頼の



【7】「逆刃刀・真打」所蔵・写真提供：博物館明治村

もと、岐阜県・関市の無鑑査刀匠・尾川兼國（おがわ・かねくに）氏が制作した一振りです。作中に登場する剣心の愛刀を実際の日本刀として作り上げたもので、人を殺傷するのではなく峰打ちの状態になるよう、刀の刃と峰の部分が通常の刀とは逆向きに打たれています。また、茎（なかご、刀身の内側）の部分には、作中と同様に、「我を斬り刃（やいば）鍛えて幾星霜 子に恨まれんとも孫の世の為」の銘が刻まれています。会場での撮影も可能です。

## And more...!!

### 展覧会オリジナルグッズも登場！

作中に登場する牛鍋屋「赤べこ」「白べこ」の姉妹店として、＜展覧会公式ショップ「黒べこ」＞が新潟市美術館ミュージアムショップに出張!? “るろ剣”の魅力が詰まった展覧会オリジナルグッズを販売します。（グッズ例… 写真左上：①立ち鏡 2,530 円（税込）、写真右上：②風船ポーチ 2,420 円（税込）、写真左下：③名刺入れ：1,980 円（税込）、写真右下：フラットポーチ 2,420 円（税込）。）



【8】展覧会オリジナルグッズ例「おろ布地シリーズ」

©和月伸宏／集英社

また、展覧会場内の展示品は撮影可能です（一部を除きます）。るろ剣の世界観をとことんお楽しみください。詳しくは公式サイトへ！ [www.teny.co.jp/ruroken-ten/](http://www.teny.co.jp/ruroken-ten/)



## 『るろうに剣心』とは

1994年19号（4月12日発売）から1999年43号（9月21日発売）にかけて「週刊少年ジャンプ」に連載。幕末に「人斬り抜刀斎（ひときりばっとうさい）」として恐れられた伝説の剣客・緋村剣心（ひむら・けんしん）が、明治維新後に「不殺（ころさず）の誓い」を掲げて、人を斬れぬ逆刃刀（さかばとう）を手に、仲間とともに人々を助ける姿を描いた物語。圧倒的な力を持ちながら、自らが犯した過ちに苦悩し成長する、全く新しいヒーロー像を繊細な筆致で描いた。剣心が駆使する必殺技「飛天御剣流（ひてんみつるぎりゅう）」のスピーディなバトルシーンと、人の心に向き合う力強いストーリーは、テレビアニメ化や実写映画化もされ幅広い世代に支持される。全世界シリーズ累計7200万部以上（電子版含む）の発行部数を誇る人気作品。現在、「ジャンプスクエア」で、続編『るろうに剣心－明治剣客浪漫譚・北海道編－』が連載中。

### 【既刊情報】

ジャンプコミックス版 全28巻（1巻：1994年9月発売、最終28巻：1999年11月発売）

コミック文庫版 全14巻

完全版 全22巻

※その他、関連企画本も複数刊行

【メディア化情報】 テレビアニメ、映画、舞台と幅広く、メディアミックスされている。

1996年～1998年 テレビアニメ放送 ※その後OVA作品も発売

1997年 劇場版アニメ映画化

2012年、2014年 劇場版実写映画3部作が公開

2016年 宝塚歌劇団により舞台化

2021年 新作劇場版実写映画公開予定

『るろうに剣心－明治剣客浪漫譚・北海道編－』

【作者：和月伸宏（わつき・のぶひろ）】

1999年に連載終了した同作の続編として、2017年より月刊漫画雑誌「ジャンプスクエア」にて連載中。

コミックス1巻は2018年9月に発売。2021年4月現在、5巻まで刊行中。

【和月伸宏（わつき・のぶひろ）】 プロフィール



1970年5月26日生まれ。新潟県出身。「週刊少年ジャンプ」で『るろうに剣心－明治剣客浪漫譚－』『GUN BLAZE WEST』『武装錬金』を連載。現在、「ジャンプスクエア」にて『るろうに剣心－明治剣客浪漫譚・北海道編－』を好評連載中。

## 基本情報

展覧会名	「25周年記念 るろうに剣心展」				
会場	新潟市美術館 企画展示室				
会期	2021年6月19日(土)～2021年8月29日(日) 63日間 (前期:6月19日～7月18日、後期:7月20日～8月29日 *一部展示替えあり)				
開館時間	午前9時30分～午後6時(券売は閉館30分前まで)				
休館日	月曜日(8月9日(月・祝)、10日(火)は開館)				
観覧料	<table border="1"><tr><td>前売</td><td>一般 1,200円 <b>5月14日(金)発売</b> *大学・高校生の前売りはありません</td></tr><tr><td>当日</td><td>一般 1,500円 ※1 大学・高校生 1,000円 ※1 中学生以下無料</td></tr></table> <p>※1 20名以上の団体、リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展の2回目は団体料金)の場合、当日の一般券は1,200円に、大学・高校生は800円になります。</p> <p>* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料</p>	前売	一般 1,200円 <b>5月14日(金)発売</b> *大学・高校生の前売りはありません	当日	一般 1,500円 ※1 大学・高校生 1,000円 ※1 中学生以下無料
前売	一般 1,200円 <b>5月14日(金)発売</b> *大学・高校生の前売りはありません				
当日	一般 1,500円 ※1 大学・高校生 1,000円 ※1 中学生以下無料				
前売券販売所	ローソンチケット(Lコード 39888)、新潟市美術館、新潟市新津美術館				

主催	新潟市美術館、TeNY テレビ新潟
原作	和月伸宏
後援	長岡市、新潟県剣道連盟、東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
企画協力	ジャンプスクエア編集部、週刊少年ジャンプ編集部
企画	「るろうに剣心展」製作委員会
お問合せ先	新潟市美術館(担当:荒井直美、岡村秀美) 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp

新型コロナウイルス感染対策にご協力をお願いいたします 詳しくは下記公式サイトをご覧ください

新潟会場公式サイト [www.teny.co.jp/ruroken-ten/](http://www.teny.co.jp/ruroken-ten/)

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本プレスリリース掲載の【1】～【9】の画像9点の使用が可能です。別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、使用后、データは速やかに破棄してください。

【画像使用全般に関する注意とお願い】●展覧会名、会期・会場名のほか、「©和月伸宏／集英社」のクレジットを必ずご掲載ください。●画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。●雑誌の表紙などに使用される場合はご相談ください。●WEBにてご掲載の場合には、コピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。●概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階でお送りくださるようお願いいたします。●掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを2部ご送付願います。

# 25周年記念 るろうに剣心展

取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

**情報解禁 4月16日(金) 9:00 AM 厳守**

**FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛**

- ◆展覧会取材、記事掲載時の作品写真(画像データ)及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、使用後、データは速やかに破棄してください。
- ◆展覧会名、会期・会場名のほか、クレジットを必ずご掲載ください。
- ◆画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。
- ◆WEBにてご掲載の場合にはコピーガード(※右クリック不可)を施しダウンロード不可にしてください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを2部ご送付願います。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	( 月 日 時頃) ・ 取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	